

## UNEP 等との協力について

### 1. 経緯

昨年 5 月に開催された、第 15 回日中韓環境大臣会合（TEMM）において、アジア地域の大气汚染問題の重要性に鑑み、既存の地域的取組をさらに活用するべく協力を進めることが合意された。さらに、今年 4 月に開催された、第 16 回 TEMM では、国連環境計画（UNEP）やその他の国際機関の努力も認識されている。

環境省では、これらの合意を踏まえ、UNEP 及びクリーン・エア・アジア（CAA）との協力を推進するべく各機関と協議を進めているところ。

### 2. 各機関との協力内容（案）

#### （1）UNEP

UNEP は、アジア地域における政府間・研究者間のネットワークを形成し、科学的基盤の強化及び地域枠組みの運営などに貢献している組織。アジアの大气汚染問題については、以下の地域協力の事務局として活動している。

- ・東アジア酸性雨モニタリングネットワーク（EANET）
- ・大気中褐色雲（ABC）プロジェクト
- ・気候と大気浄化のコアリション（CCAC） など

今後、UNEP と協力し、アジアの大气汚染に関する専門家・研究者のパネルを立ち上げ、大气汚染に関する科学的知見を集約し、充実を図る。さらに、政府関係者も参加するフォーラムを開催し、政府関係者に対して政策判断の基礎となる科学的知見を提供し、アジアにおける大气汚染問題の共有と地域的な協力を推進する。

#### （2）CAA

CAA は、アジアの約 240 の大気環境に係る国際援助機関・政府機関・都市等と幅広い協力関係を形成し、特に都市部の大気汚染対策や能力構築などに貢献している組織。関係者が一同に会する、Better Air Quality（BAQ）を、2 年に 1 回主催している。

今後、CAA と協力し、アジアの各都市が政策立案・実施に活用することを目指し「アジアの清浄な都市大気環境のための手引き（案）」を完成させ、本手引きを活用した能力構築を推進するとともに、PM2.5 のモニタリングについて技術支援等を行う。また、今年 11 月に「アジアの都市大気環境に関する政府間会合」を開催する。